

京丹後市文化芸術振興計画		令和6年度の取組 (概要)	所管課など	R6予算額 (千円)	R6事業評価 (R6.10末時点)	R7方針	R7方針説明
基本方針	基本施策						
①活動機会を 充実させます	①質の高い文化 芸術を鑑賞・体 験する機会を創 出します	<ul style="list-style-type: none"> 京丹後アートフェスティバルの開催 開催にあたり、「多様な表現とそれらを鑑賞する機会の創出」「鑑賞眼の育成」「地域の文化的資源の掘り起こしと、その再認識」「年齢や性別、国籍や言語、障害の有無を超えた交流」の課題へ取り組み、市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供する。令和6年度は「みるプログラム」「知るプログラム」を実施。 	生涯学習課	2,473千円 ※事業全体	9/21(土)～12/22(日)の期間、市内全域を会場とした「みるプログラム」「知るプログラム」を実施中。 会期中、市内で文化芸術事業を行う34団体、56事業と連携している。(令和5年度は17団体、53事業と連携)	継続	継続して「多様な表現とそれらを鑑賞する機会の創出」「鑑賞眼の育成」「地域の文化的資源の掘り起こしと、その再認識」「年齢や性別、国籍や言語、障害の有無を超えた交流」の課題へ取り組み、市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供するプログラムを実施予定。
		<ul style="list-style-type: none"> 「元気になる！オーケストラコンサート」の開催 京丹後市市制20周年記念を冠して、宝くじ文化公演を10月5日(土)に開催。吉田正記念オーケストラによる歌謡曲などのムード音楽公演。 ※(一社)自治総合センターの採択を受け、実施した事業である。 	生涯学習課	0千円	チケットが完売となり、盛況のうちに事業を終えることができた。来場者アンケートでは「毎月開催してほしい」など好意的な意見が多くあった。 第2駐車場が遠く、場所の案内が不足していたことが課題として挙げられる。	事業予定 なし	R7年度についても(一社)自治総合センターにコンサート等の開催を申請済。採択されれば開催する予定である。
		<ul style="list-style-type: none"> 落語ワークショップ、落語会の開催 丹後中学校、弥栄中学校、久美浜中学校の生徒を対象とした落語体験塾の開催(11/7、11/8開催)。アグリセンター大宮での京丹後落語三人会の開催。出演は桂塩鯛、桂米團治、桂米紫(11/8開催)。 	生涯学習課 (共催)	1,859千円	落語体験塾について、アンケート結果は概ね好評であったものの、生徒が集中を欠く時間もあった。 京丹後落語三人会について、253席中216枚のチケット販売(昨年度比▲35名)。来場者は204名。アンケート結果は好評であった。	事業予定 なし	市内中学校の全校で落語体験塾を開催できたため。また、R6年度をもって京丹後市文化のまちづくり実行委員会が解散予定であるため。
		<ul style="list-style-type: none"> 丹後能の開催 京丹後市市制20周年記念文化公演として9月29日(日)に丹後文化会館で実施(出演：観世喜正、野村萬斎) 	生涯学習課 (共催)		714席中、来場者は562人(78.8%)。来場者アンケートでは「感激した」「説明が丁寧でわかりやすかった」などの好意見があった。 ※アンケート回収率：51%	事業予定 なし	「京丹後市市制20周年」を記念した事業であり、R7年度は事業予定無し。
		<ul style="list-style-type: none"> こども能の開催 「丹後能」のプレイベント的位置として9月27日(金)に丹後文化会館で開催。地元の小中高生が仕舞発表と能を披露した。近隣の小学生も授業として鑑賞を行った。 	生涯学習課 (共催)	1,000千円	観世喜正氏の能楽解説や能「土蜘蛛」が披露され、子どもたちにとって、本物の文化芸術に触れる機会となった。	事業予定 なし	「京丹後市市制20周年」を記念した事業であり、R7年度は事業予定無し。
		<ul style="list-style-type: none"> 田中彩子リサイタルの開催 京丹後市市制20周年記念文化公演、また、田中彩子デビュー10周年記念として実施。 	生涯学習課 (共催)		12/8開催(会場：丹後文化会館)	事業予定 なし	「京丹後市市制20周年」を記念した事業であり、R7年度は事業予定無し。

京丹後市文化芸術振興計画		令和6年度の取組 (概要)	所管課など	R6予算額 (千円)	R6事業評価 (R6.10末 時点)	R7方針	R7方針説明
基本方針	基本施策						
②だれもが気軽に演奏や発表ができる場を創出します。		<ul style="list-style-type: none"> ・おとまち響プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ①まちかどピアノ事業(丹後文化会館、丹後王国) ②ピアノ貸出事業(閉校となった学校のピアノ貸出) ③音楽活動ができる環境を整備(丹後王国 王国シアター、丹後文化会館野外ステージ、峰山総合公園) ※丹後王国、峰山総合公園は練習のみ使用可能 	生涯学習課	119千円 ※事業全体	①～③の事業のいずれも運営方法等が整っておらず、事業実施ができていない状況。	継続	運営方法や音楽やダンス練習等ができる場所を決める等、環境を整備のうえ事業を展開する予定。
		<ul style="list-style-type: none"> ・京丹後市総合文化祭「舞台芸能祭」 5/19(日)丹後文化会館にて開催 	生涯学習課 (共催)	3,500千円 ※補助金全体	文化協会加盟29団体、出演・スタッフ300人により実施。来場者数延べ700人。	継続	5/18(日)丹後文化会館で開催予定
		<ul style="list-style-type: none"> ・京丹後市総合文化祭「総合作品展」 6/8(土)9(日)網野体育センターにて開催 	生涯学習課 (共催)	3,500千円 ※補助金全体	文化協会加盟19団体が参加。来場者数延べ700人。	継続	6/7(土)8(日)弥栄社会体育館で開催予定
②人材を育みます	①文化芸術に関する専門人材を配置します	<ul style="list-style-type: none"> ・専門人材の配置(継続) 文化芸術のマネジメント経験を有する職員を生涯学習課へ配置(R5から継続) 	生涯学習課	—	ふるさと創生職員を生涯学習課に1名配置。京丹後アートフェスティバルの企画・運営や文化のまちづくり推進会議などを担う。	継続	京丹後アートフェスティバルの企画・運営や文化のまちづくり推進会議を担う予定。
	②専門的な指導者を活用します	<ul style="list-style-type: none"> ・京丹後アートフェスティバルの開催 開催にあたり、「多様な表現とそれらを鑑賞する機会の創出」「鑑賞眼の育成」「地域の文化的資源の掘り起こしと、その再認識」「年齢や性別、国籍や言語、障害の有無を超えた交流」の課題へ取り組み、市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供する。令和6年度は「みるプログラム」「知るプログラム」を実施。 	生涯学習課	2,473千円 ※事業全体	<ul style="list-style-type: none"> ・9/22(日)まちなかアートマルシェ@御旅市場では、ハミルトン純子(料理家)、多賀野涼子(調律師)、金井、宮北による単発WSを実施。来場者146人 ・10～12月に金井悠(陶芸家)「みなみさないをする」WSを4回実施。参加者5名 ・10、11月に宮北裕美(ダンサー)「たんののだんす、どうなとるだぁ」WSを4回実施。参加者7名 	継続	継続して「多様な表現とそれらを鑑賞する機会の創出」「鑑賞眼の育成」「地域の文化的資源の掘り起こしと、その再認識」「年齢や性別、国籍や言語、障害の有無を超えた交流」の課題へ取り組み、市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供するプログラムを実施予定。
		<ul style="list-style-type: none"> ・アーティスト派遣(アウトリーチ)事業の実施 アーティストを市内の小学校・中学校・高等学校・支援学校等へ派遣する事業の開催 	生涯学習課	2,473千円 ※事業全体	市の事業(市がアーティストを派遣)としては未実施。 緑風高校・久美浜学舎からアーティストの紹介依頼を受け、南丹市在住の井上信太氏を斡旋。探求授業の一環で校舎の内外を使ってWSを実施。	事業予定なし	市の事業としては予算措置の予定無し。ただし、各校から派遣(紹介)の依頼があれば、対応予定。

京丹後市文化芸術振興計画		令和6年度の取組 (概要)	所管課など	R6予算額 (千円)	R6事業評価 (R6.10末 時点)	R7方針	R7方針説明
基本方針	基本施策						
③次世代を担う子どもたちをはぐくみます		・「丹後学」モデルカリキュラム改訂作業 グローバル人材育成につながる地域探究学習「丹後学」の実現に向け、令和5・6年度の2ヵ年でモデルカリキュラムの全面改訂を行った。	学校教育課	176千円	改訂作業は「新しい教育のカタチ」を共通理解し、それを読み取ってもらえるモデルをつくる作業である。スケジュール的には遅れ気味であるが、作成部会メンバーによる主体的な活動により進められている。	事業予定なし	カリキュラム改訂作業はR6年度末で完了予定。部会委員による普及等についてはR7.8月末まで実施予定
		・地域学習副読本の活用 令和5年度に全面改訂した地域学習副読本を小学5年生から中学3年生までで活用する。副読本はデータ版も作成し、タブレット端末で使用可能とした。	文化財保存活用課	928千円	小中学校における地域学習、総合的な学習の時間での使用などが認められる。	継続	次年度以降も引き続き地域学習副読本の活用を行う
		・アーティスト派遣(アウトリーチ)事業の実施 アーティストを市内の小学校・中学校・高等学校・支援学校等へ派遣する事業の開催	生涯学習課	2,473千円 ※事業全体	市の事業(市がアーティストを派遣)としては未実施。 緑風高校・久美浜学舎からアーティストの紹介依頼を受け、南丹市在住の井上信太氏を斡旋。探求授業の一環で校舎の内外を使ってWSを実施。	事業予定なし	市の事業としては予算措置の予定無し。ただし、各校から派遣(紹介)の依頼があれば、対応予定。
①公共施設などを使いやすくします		・社会教育施設の維持管理 峰山いさなご施設・マスターズビレッジ施設の維持管理	生涯学習課	10,614千円 (いさなご施設) 16,591千円 (マスターズビレッジ)	【峰山いさなご施設】 峰山林業総合センター・いさなご工房の駐車場の外灯が全て点灯できていない状態になっており、現時点で修繕ができておらず夜間利用に支障をきたしている。 【マスターズビレッジ施設】 大宮ふれあい工房の展示・大研修室について、雨漏り、エアコンの故障等が発生している。現時点で修繕が行えておらず利用に支障をきたしている。	継続	【峰山いさなご施設】 駐車場の外灯について、修繕の予算要求を行っている。施設全体を適切に維持管理し、いさなご工房等の利用促進を図りたい。 【マスターズビレッジ施設】 大宮ふれあい工房の展示・大研修室について、雨漏り修繕、エアコン修繕などの予算要求を行っている。施設全体を適切に維持管理し、展示会などの利用促進を図りたい。
		・資料館の維持管理 郷土資料館・古代の里資料館・琴引き浜鳴き砂文化館の維持管理	文化財保存活用課	27,958千円 ※事業全体	郷土資料館及び古代の里資料館の適切な維持管理、保守管理を行った。鳴き砂文化館は指定管理者が別途維持管理等を行う。	継続	資料館の開館日、時間の変更も視野に入れながら適切な維持管理に努める。

京丹後市文化芸術振興計画		令和6年度の取組 (概要)	所管課など	R6予算額 (千円)	R6事業評価 (R6.10末 時点)	R7方針	R7方針説明
基本方針	基本施策						
③公共施設などを使いやすく整備します。	②創作などができる場を増やします	<ul style="list-style-type: none"> ・おとまち響プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ①まちかどピアノ事業(丹後文化会館、丹後王国) ②まちかどピアノ貸出事業(閉校となった学校のピアノ貸出) ③音楽活動ができる環境を整備(丹後王国 王国シアター、丹後文化会館野外ステージ、峰山総合公園) ※丹後王国、峰山総合公園は練習のみ使用可能 	生涯学習課	119千円 ※事業全体	①まちかどピアノの利用者数については、計測していないため不明。 ②まちかどピアノ貸出事業…9/22(日)まちなかアートマルシェ 参加者15名 まちかどピアノ事業、まちかどピアノ貸出事業共に、運営方法等の整備ができておらず、事業実施ができていない。	継続	運営方法等を整備し、まちかどピアノ事業、まちかどピアノ貸出し事業を市民の方に広く利用してもらえるよう、広報予定。
		<ul style="list-style-type: none"> ・旧大宮第三小学校の丹後吹奏楽団への貸し出し 吹奏楽の練習場所として、R6.4～R7.3まで使用許可(1年更新) 	生涯学習課	0千円	吹奏楽の練習場所として、R6.4～R7.3まで使用許可(1年更新)	継続	使用許可の申請があれば、継続許可する方針である。
	③施設間のネットワークを構築します	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術のまちづくり推進会議間でのネットワークの構築 「文化芸術事業における情報発信について」のグループワークの実施 	生涯学習課	457千円	5/14(火)、7/30(火)、10/8(火)の3回、通常の会議スタイルとは異なり、各回の協議議題に基づき、性別・年齢等が入り交じり、新たな意見交換が行えるよう実施。	継続	「文化芸術事業における情報発信」に関する提案の実施、および検証を行う予定。
		<ul style="list-style-type: none"> ・京丹後アートフェスティバル「みるプログラム」による市内の文化芸術団体、民間施設等との連携 「鑑賞」に特化したみるプログラムでは、これまで個々に動いていた文化芸術の活動を「ARTMAP」や専用のSNSを活用し一体的に広報することで、市民に様々なジャンルの芸術鑑賞をする機会があるということを提示し、またそれらのアートイベントをバスツアーとして周遊することで、このまちの文化的資源に出会う機会をつくること、そして官民が連携することで、フェスティバルをともに盛り上げていくネットワークづくりを行う。 	生涯学習課	2,473千円 ※事業全体	「みるプログラム」では会期中、市内で文化芸術事業を行う34団体、56事業と連携。広報連携を望んでの新たな後援申請や、来年度以降も連携を望む声を聞いている。	継続	京丹後アートフェスティバルのプログラムをとおして、市内外の施設や民間団体等との連携を積極的に行う予定。
		<ul style="list-style-type: none"> ・京丹後アートフェスティバル「知るプログラム」まちなかアートマルシェ開催による市内の文化芸術団体、民間施設等との連携 誰もが気軽に創作や表現の楽しさを体験できる機会として、様々なジャンルのワークショップを一堂に集め、1日限りのイベント(マルシェ)として開催する。 こまねこまつりや、御旅市場の空き店舗などを活用し、地域との連携したかたちで実施する。 	生涯学習課	2,473千円 ※事業全体	「知るプログラム」では9/22(日)まちなかアートマルシェ@御旅市場では、「御旅市場商店街組合」、「御旅市場アーケード管理組合」、「こまねこまつり実行委員会」と連携するとともに、企画や運営に「ふるさと創生職員プロジェクト」の協力をいただいた。	継続	京丹後アートフェスティバルのプログラムをとおして、市内外の施設や民間団体等との連携を積極的に行う予定。

京丹後市文化芸術振興計画		令和6年度の取組 (概要)	所管課など	R6予算額 (千円)	R6事業評価 (R6.10末 時点)	R7方針	R7方針説明
基本方針	基本施策						
	④文化ホールのあり方や図書館の整備を検討します	・文化芸術関連施設及び、中央図書館の整備推進 市立図書館としてのあり方を検討していくため、市民全体にアンケートを行う等により意見を聴取する。	生涯学習課	0千円	夏頃に全市民を対象としたアンケートを実施予定であったが、予定がズレ込んでおり未実施。	継続	全市民を対象にしたアンケートを実施し、地域からの意見等を精査したうえで今後の図書館運営を検討していく。
④次世代へ文化的資源を継承します	①京丹後の歴史文化を次世代に伝えます	・小学校・中学校での「丹後学」の学習 令和4年度に改訂した「丹後学 令和5・6年度活用版」をもとに、各校園所で地域素材を用いた探究的な学びの研究実践を推進	学校教育課	1,100千円	市の「重点」の方向性に沿い、令和6年度の重点に設定された学校が増加しているが、新たな「丹後学」が目指すものの理解・具体化は今後さらに進めて行く必要がある。	継続	R7年度においても引き続き、各学校における丹後学の実践を推進する。
		・出前講座 外部からの出前講座等の対応を行うもの	文化財 保存活用課	0千円	小学校や団体などから9回実施した。	継続	R7年度においても引き続き、各学校各団体における出前講座を実施する。
		・郷土資料館 体験学習 郷土資料館所蔵の民具を中心に体験学習を行うもの	文化財 保存活用課	0千円	例年2月頃に小学校で実施される「昔の生活」の授業において体験学習を実施予定。	継続	R7年度においても引き続き実施する。
		・丹後古代の里資料館 体験学習 丹後古代の里資料館所蔵の発掘された遺物を中心に体験学習を行うもの	文化財 保存活用課	0千円	市内小学校の社会科授業において、発掘された遺物の体験学習を実施（1回）。	継続	R7年度においても引き続き実施する。
		・京丹後アートフェスティバル「知るプログラム」でのアーティストによる連続ワークショップ 1年目のテーマ「多様な表現を知る」を経て、2年目は「丹後を素材につくる」をテーマに、ワークショップをまちなかで展開し、アーティストが扱うモチーフや素材から「日常や社会とのつながりを知る」きっかけを生み出す。ワークショップをとおして、日常や社会とのつながりから、その先（未来）を創造する力を養う。創作（作品づくり）を中心に、3年目の発表へとつなげる。	生涯学習課	2,473千円 ※事業全体	・丹後の空き家とそこから出る廃材や骨董品をモチーフに、金井悠（陶芸家）による「みなみなさないをする」を10～12月に4回実施中。参加者5名 ・古墳や郷土の踊りをモチーフに、宮北裕美（ダンサー）「たんごのだんす、どうなとるだぁ」WSを10、11月に4回実施。参加者7名。 数や量では測れない、質の部分をどのように評価としていくのか、また今後継承していくのか課題はある。	継続	京丹後アートフェスティバル「知るプログラム」で、アーティストによる単発および連続ワークショップを実施予定。連続ワークショップは、丹後を舞台に3年目の成果を発表する予定。
	②地域の伝統行事や民俗芸能などを次世代に伝えます	・京丹後市指定文化財等補助金の活用 市内に所在する貴重な文化財を後世に残すために、所有者に対し修理や保全に係る補助金を交付する。	文化財 保存活用課	3,000千円 ※事業全体	指定文化財等における申請を現在審査中であるが、伝統芸能に関するものも申請されている。	継続	R7年度においても引き続き実施する。
・歴史文化や文化財を後世に伝える市民遺産ならびに市民遺産会議の運用 京丹後市の歴史文化や文化財を後世に伝えるため、市民提		文化財 保存活用課	86千円	10月に2団体から推薦のあった市民遺産を認定。そのうち1つは「久美浜一区秋祭り」を認定。	継続	R7年度においても引き続き実施する。	

京丹後市文化芸術振興計画		令和6年度の取組 (概要)	所管課など	R6予算額 (千円)	R6事業評価 (R6.10末 時点)	R7方針	R7方針説明
基本方針	基本施策						
⑤情報を発信します	①イベント、行事、団体などの情報を市内外へ発信します。	・京丹後アートフェスティバル期間内の取組みや催しの情報発信 フェスティバル期間中に市内で行われる文化芸術事業と連携し、様々な鑑賞の機会を包括、一体的に提示する。また昨年度同様、広報物を手に取ったひとの能動性を引き出すツールとなるARTMAPを制作する。昨年度は連携事業を、市主催事業、後援事業、関係団体による事業、市内の文化施設のみを対象としたが、今年度は一般に公募し連携先を拡充させる。(令和5年度は17団体、53事業と連携)	生涯学習課	2,473千円 ※事業全体	・ARTMAPの作成および市内外への配布(21,500部)、市HP「みるプログラム」イベントカレンダーの掲載、専用インスタグラムでの発信、まちなかアートマルシェ特設会場での情報発信、そのほか民間のイベントサイトへの掲載等。 ・連携事象は34団体、56事業。広報連携を望んでの新たな後援申請や、来年度以降も連携を望む声を聞いている。	継続	京丹後アートフェスティバルの開催をとおして、市内の文化芸術事業や文化的資源を、市内外へ一体的に発信する予定。
		・京都府の文化芸術の情報発信ツール等を活用した情報発信	生涯学習課	0千円	現時点で京都府の情報発信ツールとの連携実績なし。	継続	KYOTOHOOP(京都府地域文化創造促進事業の情報サイト)などでの情報発信依頼を行う。
		・文化芸術のまちづくり推進会議で情報発信の改善策に取り組む ・令和6年度文化庁委託事業「劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援 支援員の派遣による支援」の活用 ・「文化芸術事業における情報発信について」の企画提案	生涯学習課	457千円	・7/19(金)、26(金)広報に関する勉強会(支援員:愛知県芸術劇場 広報・マーケティング部長 林健次郎)実施。データや状況に基づいた効果的なツール等を知ることができ、委員からは貴重な機会だったとかね好評だった。	継続	「文化芸術事業における情報発信」に関する提案の実施および検証を行う予定。
	②助成制度などの情報を収集し広く周知	・国、府、各種団体の助成制度をまとめ、情報提供	生涯学習課	0千円	現時点で実績なし。 年度内に市HPに掲載予定	継続	情報を随時更新しながら、提供予定
	①文化的資源の魅力在市内外へ発信します	・京丹後アートフェスティバル期間内の取組みや催しの情報発信 フェスティバル期間中に市内で行われる文化芸術事業と連携し、様々な鑑賞の機会を包括、一体的に提示する。また昨年度同様、広報物を手に取ったひとの能動性を引き出すツールとなる、ARTMAPを制作する。昨年度は連携事業を、市主催事業、後援事業、関係団体による事業、市内の文化施設のみを対象としたが、今年度は一般に公募し、連携先を拡充させる。(令和5年度は17団体、53事業と連携)	生涯学習課	2,473千円 ※事業全体	・ARTMAPの作成および市内外への配布(21,500部)、市HP「みるプログラム」イベントカレンダーの掲載、専用インスタグラムでの発信、まちなかアートマルシェ特設会場での情報発信、そのほか民間のイベントサイトへの掲載等。 ・連携事象は34団体、56事業	継続	京丹後アートフェスティバルの開催をとおして、市内の文化芸術事業や文化的資源を、市内外へ一体的に発信する予定。

京丹後市文化芸術振興計画		令和6年度の取組 (概要)	所管課など	R6予算額 (千円)	R6事業評価 (R6.10末 時点)	R7方針	R7方針説明
基本方針	基本施策						
⑥文化芸術 をまちづくりに広く活 かします		<p>・～日本のふるさと～京丹後歴史文化めぐりマップの活用</p> <p>京丹後市文化財保存活用地域計画に示した4つの歴史文化の特徴と11のストーリーを紹介するデジタルマップを運用するもの</p>	文化財 保存活用 課	284千円	平均月間PVが約2400PVと目標の2000PVを超えるなど閲覧回数も増加している傾向である。	継続	R7年度も引き続き運用するが、マップにおいてはスタンプラリーの実施、お知らせやコラムの充実を図りたい。
		<p>・京丹後アートフェスティバル「みるプログラム」でのガイドによる鑑賞バスツアー</p> <p>連携するアートイベントや市内の文化財などをガイド付きで巡るバスツアー。ガイドの解説や、同乗する参加者との対話や交流をとおして、いろんな見方、感じ方がある、そんな多様性を受け入れる場づくりと、鑑賞眼の育成となる場をつくる。</p>	生涯学習課	2,473千円 ※事業全体	11/30(土)みるプログラム限定ガイドつき丹海バス展覧会「パシャパシャ丹後はた織りと共にある暮らしを観る」(京都:Re-Search実行委員会)を実施予定	事業予定 なし	—
	②地域・世代・国籍などを 超えた交流を図ります	<p>・京丹後アートフェスティバル「知るプログラム」でのアーティストによるワークショップ等</p> <p>「体験」を重視したプログラム。アーティストの視点や表現方法を用いて、地域の文化的資源を掘り起こす。アーティストの作品紹介のほか、ワークショップを通して多様な表現、創作方法を知り、そのプロセスや参加同士の交流の中で、歴史や郷土、地域課題等への気づきを促す。</p> <p>9/22(日)まちなかアートマルシェ@御旅市場 10月～12月 金井悠(陶芸家)「みなみなさないをする」WS 10月、11月 宮北裕美(ダンサー)「たんごのだんす、どうなとるだぁ」WS</p>	生涯学習課	2,473千円 ※事業全体	<p>・9/22(日)まちなかアートマルシェ@御旅市場では、ハミルトン純子(料理家)、多賀野涼子(調律師)、金井、宮北による単発WSを実施</p> <p>・10～12月に金井悠(陶芸家)「みなみなさないをする」WSを4回実施中。</p> <p>・10、11月に宮北裕美(ダンサー)「たんごのだんす、どうなとるだぁ」WSを4回実施</p> <p>アートマルシェでは、知るプログラム講師に加え、料理家、調律師を講師に迎え、ジャンルの幅を広げて開催。知るプログラムとは異なる層(特に親子)の参加が多かった。来場者は146人。</p>	継続	京丹後アートフェスティバル「知るプログラム」で、アーティストによる単発および連続ワークショップを実施予定。 連続ワークショップは、丹後を舞台に3年目の成果を発表する予定。
	③文化芸術の力を観光に活 かします。	<p>・～日本のふるさと～京丹後歴史文化めぐりマップの運用</p> <p>京丹後市文化財保存活用地域計画に示した4つの歴史文化の特徴と11のストーリーを紹介するデジタルマップを運用するもの</p>	文化財 保存活用課	284千円	平均月間PVが約2400PVと目標の2000PVを超えるなど閲覧回数も増加している傾向である。	継続	R7年度も引き続き運用するが、マップにおいてはスタンプラリーの実施、お知らせやコラムの充実を図りたい。